ねんきんだより Pensions News

公的年金源泉徴収票が送られます

老齢または退職年金を受けているかたには、来年１月中旬から下旬にかけて日本年金機構から公的年金などの源泉徴収票が送られます。

この源泉徴収票には、今年の１月から12月までの１年間に支払われた年金額、源泉徴収された税額、控除の内容が記載されています。（介護保険料などが年金から特別徴収されている場合の源泉徴収税額は、支払われた年金額から介護保険料額等を控除した後の金額で計算されています）年金のほかに収入があるなどの理由で確定申告をするかたは、申告手続きをする際にこの源泉徴収票が必要となります。

１月末日までに源泉徴収票が届かない場合や紛失してしまった場合は「ねんきんネット」または「ねんきんダイヤル」で源泉徴収票の再交付の受付を行っています。お急ぎの場合は、お近くの年金事務所で再交付が可能です。ご本人が来訪される場合は、運転免許証など本人確認ができるものをご持参ください。その他のかたが来訪される場合には、交付申請されるかたのマイナンバーまたは基礎年金番号が確認できる書類（マイナンバーカードや年金証書など）のほか、委任状、依頼されたかたの本人確認ができるものをご持参ください。

○ねんきんダイヤル ☎0570-05-1165（イイロウゴ）

問合せ　太田年金事務所 ☎４９－３７１６

消費トラブルにご注意！

フリマサービスの受取評価は商品を確認してから！

【事例】

フリマサービスのアプリでブランドもののネックレスを購入した。届いた商品の状態をよく確認せず、とりあえず受取評価をしてしまったが、その後その商品が偽物ということが判明した。フリマサービス運営事業者に苦情を伝えると「受取評価をしてしまうと取引が完了となりお金は戻らない」と言われ、アプリの規約には「評価後の苦情などについては当事者間で話し合うように」と書かれていた。（60歳代 女性）

【ひとこと助言】

フリマサービスでの取引は、売主と買主との個人間の取引です。トラブルが起きた場合は、基本的には当事者間での解決を求められることを理解しましょう。

フリマサービスでは、買主が商品を受け取り、出品者を「評価」すると出品者に代金が支払われます。評価してサービス上の取引が完了してしまうと、トラブルが起きても、フリマサービス運営事業者の補償サービスやサポートを受けられないことがあります。商品が届いたら、状態をよく確認してから評価することが大切です。

フリマサービスを利用する際は、規約や初心者ガイドなどで取引のルールやトラブル発生時の対応（補償サービスやサポートなど）をしっかり確認しましょう。

相談は消費生活センターまで　☎８２－７８３０（ナヤミナシ）

休日当番医

期日	内科系			外科系	耳鼻科
12月４日（日）	県西在宅クリニック館林 ５５－３８１８	阿部医院 ６２－５４２８		高木整形外科 ６２－６６１１	川村耳鼻咽喉科医院 ７２－１３３７
12月11日（日）	たなか医院 ６２－２８８１	星野こどもクリニック※ ７０－７２００		堀井乳腺外科クリニック ５５－２１００	－
12月18日（日）	ハートクリニック ７１－８８１０	小児科おぎわらクリニック※ ６１－１１３３		館林医院 ７４－２１１２	板倉耳鼻咽喉科クリニック ８０－４３３３
12月25日（日）	福田ペインクリニック ８４－１２３３	多々良診療所 ７２－３０６０		真中医院 ７２－１６３０	－
12月30日（金）	三浦医院 ６２－２９１７	森下内科医院 ７３－７７７６	こやなぎ小児科※ ８０－２２２０	井上整形外科医院 ８２－１１３１	－
12月31日（土）	さくま内科胃腸科クリニック ５５－２５００	はまだクリニック ８０－１１００	公立館林厚生病院※ 76-8031<予約専用>	ふじの木整形・内科クリニック ９１－４０７０	－
１月１日（祝）	ハートクリニック ７１－８８１０	後藤内科医院 ７２－０１３４	公立館林厚生病院※ 76-8031<予約専用>	しんじょう整形外科クリニック ５５－３６２３	－
１月２日（月）	県西在宅クリニック館林 ５５－３８１８	黛泌尿器科内科医院 ６３－７８００	公立館林厚生病院※ 76-8031<予約専用>	富士クリニック ペインクリニック ２０－１９７１	－

歯科	
館林邑楽歯科保健医療センター ７３－８８１８ 午前９時～正午	◆緊急　公立館林厚生病院　☎７２－３１４０（内科系・外科系） ◆コロナに関すること　群馬県受診・相談センター ☎０５７０－０８２－８２０（24時間受付）

●診療時間は、午前９時～午後５時（ただし、耳鼻科の診療時間は、午前９時～午後１時）　●内科系の※は、小児科のみとなります。
●公立館林厚生病院※の予約時間は、午前９時～午前11時（要電話予約）　●高木整形外科は、午前中のみの診察となります。
●受診前に必ず医療機関に電話で確認してください。　●救急テレホンサービス　☎７３－５６９９：受診可能な病院を紹介しています。

Face フェイス

厳しい練習をがんばって勝つ喜びを知ってほしい

いつまでもバドミントンに夢中

小川三千子さん

おがわ　みちこ　67歳
大字籾谷在住

いろいろなことに興味があるという小川さん。ハイキングやガーデニングのほか、メダカや金魚は産卵、ふ化させ、成長する姿に声をかけるそうです。

板倉ジュニアバドミントンクラブ
問合せ　海洋センター
☎８２－０８５８

バドミントンのきっかけ

小川さんが板倉ジュニアバドミントンクラブの指導を始めてから、20年以上が経ちました。

小川さんがバドミントンを始めたのは、若い頃に盛んだった青年団活動がきっかけでした。その中で、団体戦で群馬県大会を勝ち抜き、全国大会に出場したこともあったそうです。

一人で続けた練習の日々

そして、板倉町に越してきてもバドミントンを続けようとしましたが、その頃の板倉のバドミントンクラブは休部状態にありました。

そのような中でクラブを引き継いだ小川さんですが、休部状態のクラブに練習に来る人は誰もいませんでした。それでも練習日には鍵を開け、一人で練習を続けました。そんな日々が長い間続いたそうです。

それでも諦めずに続けるうちに、賛同する仲間が集まり始め、充実した練習ができるようになり、やがて小学生も参加するようになりました。

子どもたちに勝つ喜びを

ジュニアの指導をするにあたり、中途半端なことはしたくないと、指導者資格を取得することを決めました。しかし指導者になるためには、まず３級審判資格が必要であるため、審判資格を取得し、指導を続けてこられました。

子どもたちには「勝つ喜びを知ってほしい」という思いを持っているそうです。そして勝つためには、選手、指導者とともに保護者の理解と協力が不可欠とのことです。現在は代表を退いていますが、クラブには館林市や古河市から通う小学生もいます。

今でもバドミントンに夢中

今でもバドミントンに夢中だという小川さん。体が動く限り続け、動けなくなったら口を出したいと笑っていました。いつかこのクラブからオリンピック選手が出ることを願っています。

レポーター
広報編集委員
間明田憲志（まみょうだ のりゆき）